



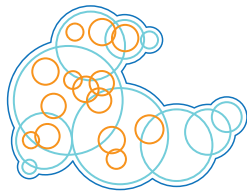
さまざまに咲く、
未来への歩み。

誰もが暮らしやすく、
それぞれが輝けるまちへ。
これまでの取り組みが、さまざまに花咲き、
実を結んでいます。

富山市版スマートシティが 目指す未来

まちの「しんか」

できる、ひろがる、デジタル



Smart City TOYAMA

富山市では、スマートシティ政策で
目指す未来を産学官民が共有し、行動
するための指針として「富山市スマー
トシティ推進ビジョン」を策定しました。

推進ビジョンのキャッチコピーは、
「まちの『しんか』
できる、ひろがる、デジタル」。

これまでのコンパクトシティ政策をスマ
ートシティ政策で補完・融合させること
により、これまでできなかったことがデ
ジタルの技術を活用してできるよう
になり、市民生活がより豊かになること。
郊外部や中山間地域など市域のどこに
住んでいても不便を感じることなく、安
全・安心で誰もが暮らしやすさを感じら
れるまちであること。そんな未来を目
指しています。

富山市版 スマートシティ

富山市は、デジタル技術やデータを活用し、地域課題や市民の困りご
とを解決する「スマートシティ政策」に産学官民で取り組んでいます。

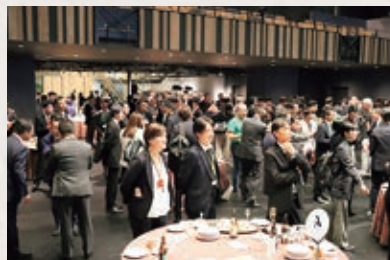
この「スマートシティ政策」と、富山市がこれまで進めてきた「コンパクト
シティ政策」を融合させることで、さらなるまちの発展を目指しています。



産学官がスクラムを組む スクラム ティー SCRUM-Tを設立

富山市では、令和5年11月、富山市スマートシティ推進プラットフォーム
「SCRUM-T」を設立しました。令和7年12月末現在、県内外の270企業・団体
等が登録されています。

SCRUM-Tでは、様々な企業・団体が同じビジョンを共有し、市民にとって真
に有益なスマートシティ関連事業を創出するため、交流や共創を深めています。



SCRUM-T総会



サイドイベント(会員同士の個別交流会)



スマートシティ関連事業創出のために

富山市では、スマートシティ関連事業提案用の「ワンストップ窓口」を開設
し、富山市版スマートシティの推進に資する事業提案を一元的に受け付け
ています。

また、SCRUM-Tの会員企業が行う、アプリケーションの開発やビジネスモ
デルの試行などの実証事業に対し補助を行っており、令和7年度は3件の実証
事業を支援しています。

産学官の連携により、「富山市版スマートシティ」の実現に力強く歩みを進め
ています。



実証事業選定に関する市長記者会見



スタートアップ企業との連携イベント(東京)



富山市が取り組むスマートシティ関連事業を紹介

●市民の安心・便利のために 富山市LINE公式アカウント

富山市では、公式LINEアカウントを活用した情報発信や予約等のサービスを行っています。

【機能・サービス】

- 災害・緊急情報の配信
- テーマ別の情報提供
- 住民票の写しなどの交付申請
- 市民課などの窓口予約
- 各種講座の予約
- クマ出没情報を通知
- 水道使用開始・中止の申請 など



●富山市情報公開サイトで 生活に役立つ情報を発信

富山市情報公開サイト「Toyama Smart City Square」では生活に役立つ様々な情報を発信しています。

- 河川水位・雨量情報… IoTセンサーが収集したリアルタイムの情報
- 消防車両出勤情報… 消防局の指令システムと連携
- 市役所窓口（市民課等）の混雑状況

<https://tscs.city.toyama.lg.jp>



●スマートシティ先導的モデル事業

「スマートシティ先導的モデル事業」は、デジタル技術の導入やデータの利活用により、身近な拠点である地区センターや公民館の利便性や拠点性を高めることで、地域交流や共助の促進を図り、生活の利便性の向上と地域コミュニティの活性化を目指すものです。



●野生動物自動検出AI活用事業 (AIカメラによるクマ情報通報システム)

野生動物を自動判別できるAIカメラを導入し、有害鳥獣対策、特にクマの人身被害対策での活用を図っています。カメラの前を野生動物が通ると撮影された姿をAIが瞬時に判別し、クマである可能性が高い「精度80%」以上の場合、市職員等に自動的にメール送信されます。令和7年度からは、クマだと断定できる「精度99%」の場合、出没地近辺の防災行政無線が自動放送を行い、地域住民に注意喚起を促す取組を開始しています。



●AIが最適なバスのルートを決める AIオンデマンド交通システム

大山地域ではAIオンデマンド交通システムを導入した乗合バス「あいのり大山」を運行しています。利用者は約40か所の停留所で乗り降りができ、スマホや電話で乗車予約をします。予約を受け付けるとAIが最適なルートを判断し、配車を行います。車を使えない高齢者等の移動手段として役立っています。



●高齢者向けスマホ教室

デジタル機器の利用に慣れていない高齢者を対象に、スマートフォンの使い方を学びます。郊外部などの公民館での講座や、まちなかを散策しながら楽しく学べる講座を行っています。





みんなニッコリ
育さぽとやま

富山市の
こどもまんなか推進
ロゴマーク

こどもたちみんなが笑顔に

子どもたちが、みんな笑顔でいられるように。
子育て家庭が、喜びを感じながら子育てができるように。
富山市は、市民の皆さんと一緒に
「子育て日本一とやま」をめざしています。



● 妊娠中から切れ目なく支援します

保健福祉センター(7か所)

市内7か所の保健福祉センターでは、保健師など専門のスタッフが関係機関と連携しながら、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行っています。出産後も面談等を行うことで、保健師と保護者の方との信頼関係を築き、子育て家庭をサポートしています。



夫婦がこれから迎える出産や子育てについて学ぶ「パパママセミナー」



乳幼児健康相談

● 地域で安心して子育てができるように

まちなか総合ケアセンター

産後の母子がデイケアや宿泊でサポートを受けられる「産後ケア応援室」、24時間体制で妊娠中や産後の母親の電話相談に応じる「助産師ほっとライン」、子育て中の母親の交流や健康づくりを目的とした講座「ままのわ」を開催しています。また、病児・病後児保育(お迎え機能あり)を行う「病児保育室」があります。



「ままのわ」講座

まちなか
総合ケアセンター
Webサイト



産後ケア応援室



● 子どもの健やかな成長のために

子育て支援センター(16か所)

親子で遊んだり、専門スタッフに子育ての相談ができる「子育て支援センター」は市内に16か所あります。富山駅南CiCビル内にある子育て支援センターでは、土日祝日も遊び場を開放しています。また、各種講座も開催し、子育て家庭を応援しています。



「お父さんと遊ぼう」講座も開催!

子育て支援センターに
行ってみよう!
動画サイト





さまざまな取り組みがあります

● 保育所、認定こども園等

市内には、保育所が33か所、認定こども園が75か所、地域型保育事業所が12か所あります。通常の保育時間を超えて保育が必要な子どもを預かる「延長保育」や、保護者の都合により家庭で保育ができない時などに一時的に預かる「一時預かり保育」等を実施しています。

そのほか、医療的ケアが必要な子どもの預かりや、保育所等で急に体調を崩した子どもを保護者のお迎えまでの間預かる「体調不良児対応型病児保育」を実施している施設もあります。



● 若者への情報提供、妊娠前からの支援

10代、20代の若者がライフプランを考えるきっかけづくりとして、妊娠・出産・子育てに関するフォーラムを開催しています。

また、子どもを望む夫婦に対し、妊娠に向けた検査や治療にかかる費用の助成を行います。



● 放課後の小学生をサポート

留守家庭の児童に対し、放課後の小学校の空き教室等を利用した子ども会(58か所)や社会福祉法人などの民間事業者が運営する放課後児童クラブ(75か所)にて遊びや家庭に代わる生活の場を提供しています。



● ひとり親家庭の支援

ひとり親に寄り添いサポートする「ひとり親アテンダント」による相談支援や、ひとり親家庭の中学生・高校生に対する学習支援などを行っています。



● 障害のある児童への支援

「富山市恵光学園」では、障害児及び心や体に発達遅れが心配される子どもたちに、早期に専門的な療育を行っています。また、「こども発達支援室」では、乳幼児の成長や発達に関する相談を受け、乳幼児期からの子どもの発達に応じた切れ目のない支援を行っています。



富山市恵光学園

● 子育て情報を発信

● 子育て支援ウェブサイト「育さぽとやま」

富山市の子育てに関する情報を集約したサイトです。

● 子育て支援

AIチャットボット

24時間365日、AIが子育てに関する質問に回答するサービスです。



育さぽとやま

● 母子健康手帳アプリ

「育さぽとやま」by母子モ予防疫種スケジュール管理や健康診断の記録など便利な機能がたくさんあります。

育さぽとやま Webサイト



● 医療費負担の軽減

こども医療費助成については、令和7年10月から、対象を高校生年代までに引き上げました。また妊産婦の対象疾病にかかる医療費助成については、所得制限を廃止するなど、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して出産・子育てができるよう、支援しています。



都市の理想を、富山から。

SDGs 未来都市 TOYAMA



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、「世界中の誰一人取り残さない」をテーマに、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき課題と、その具体目標を定めたものです。貧困・飢餓、健康・福祉、気候変動、平和・公正などの17分野の目標を掲げており、グローバル化が急速に進む社会、経済、環境上のさまざまな課題に対して、国際社会全体で協働して取り組んでいくためのキーワードです。富山市ではこれまでもSDGsの理念と軌を一にする「環境未来都市」及び「環境モデル都市」として先行的な取り組みを行ってきており、自治体SDGsの積極的な推進に向けたモデルとしての役割も期待されているところです。こうした中、平成30年度に、国の「SDGs未来都市」に選定されました。経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的な取り組みを行い、これまでのコンパクトなまちづくりを、一層、深化・充実させるとともに、SDGsの理念を市民と共有し、地域の特性や魅力を高めた、「持続可能な付加価値創造都市」の実現を目指します。



SDGs未来都市が目指す将来像 ～富山市SDGs2030ビジョン～

コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現



公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現

公共交通の整備や次世代型交通システムへの対応を通じて、高齢者の外出機会の創出や中心市街地の活性化を図り、地域生活拠点とのネットワーク機能を高める「コンパクトシティ」の形成を目指します。



市街地を走る市内電車



ヘルシー&交流シティの形成と 質の高いライフ・ワークスタイルの確立

健康・福祉の推進、子育て環境の充実等を通じて、地域が一体となり、健康・子育て・教育に取り組める「ヘルシー&交流シティ」の形成を図り、市民にとって質の高いライフスタイルとワークスタイルが享受できる都市の実現を目指します。



まちなか総合ケアセンター「まちなか保健室」



セーフ&環境スマートシティと自立分散型エネルギーシステムの構築

再生可能エネルギーの導入拡大と活用推進を通じて、脱炭素化と都市レジリエンスが融合した「セーフ&環境スマートシティ」と自立分散型エネルギーシステムの構築を目指します。



環境や防災に配慮した豊田地区センター・公民館



産業活動の向上のための技術・社会イノベーションの創造

新たな技術イノベーションを生み出す基盤の強化や市内企業の活性化に向けて、センサーネットワークを通じたデータの利活用や農林水産業へのAI・ICT等の先端技術の導入によるスマート化を推進します。



自動運転トラクタと有人運転トラクタとの2台協調作業



多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上

世代を問わずSDGsに取り組む人材の育成や官民連携・未来共創、市の知見やノウハウの国際展開の推進により、都市ブランド力を高めた「選ばれる都市」を目指しています。



インドネシアに導入されたコンポストプラント

富山市の主な受賞歴

受賞(認定等)年月日	名 称	表彰(認定等)団体名※
令和7年 10月 15日	富山市ブルーバール広場再整備 2025年度グッドデザイン賞	公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞審査委員会
令和4年 7月 13日	第19回 MM総研大賞2022 (「スマートシティ分野」最優秀賞と、全分野の最優秀賞の中から選出された最高賞である「大賞」を受賞)	株式会社MM総研
令和4年 3月 24日	第4期 富山市中心市街地活性化基本計画	内閣府
令和3年 12月 14日	スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2021	スポーツ庁
令和3年 10月 20日	歩くライフスタイル促進アプリ「とほ活」 2021年度グッドデザイン賞	公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞審査委員会
令和3年 3月 5日	i-Construction大賞(国土交通大臣賞)	国土交通省
令和2年 12月 1日	第2回 コンパクトなまちづくり大賞「総合戦略部門」 国土交通大臣賞	コンパクトなまちづくり推進協議会 一般財団法人都市みらい推進機構
令和2年 2月 28日	3つ星レジリエンスシティ	(一財)格付けジャパン研究機構
令和元年 9月 30日	軌道運送高度化実施計画の変更認定	国土交通省
平成30年 6月 15日	SDGs未来都市 全国初	日本国
平成30年 6月 15日	第2回 コンパクトシティ大賞(国土交通大臣賞)	まちづくり月間全国的行事実行委員会
平成29年 3月 24日	第3期 富山市中心市街地活性化基本計画	内閣府
平成29年 3月 15日	ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017「グランプリ」	レジリエンス・アワード2017事務局
平成28年 7月 4日	世界銀行都市パートナーシップ・プログラム	世界銀行グループ東京開発ラーニングセンター
平成28年 2月 17日	低炭素杯2016「ベスト長期目標賞」	低炭素杯実行委員会
平成27年 7月 1日	平成27年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰	国土交通省
平成26年 12月 3日	100のレジリエント・シティ	ロックフェラー財団
平成26年 9月 23日	エネルギー効率改善都市 全国初	国際連合SE4ALL
平成26年 5月 29日	地域活性化モデルケース	内閣官房
平成26年 2月 21日	第5回 EST交通環境大賞(国土交通大臣賞)	EST普及推進委員会
平成25年 7月 25日	第1回 プラチナ大賞(優秀賞)	プラチナ構想ネットワーク
平成25年 2月 9日	平成24年度地域づくり総務大臣表彰(地方自治体表彰)	総務省
平成24年 3月 29日	第2期 富山市中心市街地活性化基本計画	内閣府
平成23年 12月 22日	環境未来都市 全国初	内閣官房地域活性化統合事務局
平成23年 6月 15日	第6回 まち交大賞・国土交通大臣賞	まちづくり情報交流協議会
平成23年 3月 11日	第24回 日本クリエイション大賞2010 大賞	(財)日本ファッション協会
平成23年 2月 11日	第1回 低炭素都市づくり・ベストプラクティス 大賞	低炭素都市推進協議会
平成22年 10月 14日	第9回 日本鉄道賞表彰選考委員会特別賞	「鉄道の日」実行委員会
平成22年 7月 15日	第5回 まち交大賞・まちづくり達成大賞(まちづくり情報交流協議会会長賞)	まちづくり情報交流協議会
平成21年 7月 17日	第4回 まち交大賞・創意工夫大賞(都市みらい推進機構理事長賞)	まちづくり交付金情報交流協議会
平成20年 7月 22日	環境モデル都市 全国初	内閣府
平成20年 2月 28日	軌道運送高度化実施計画 全国初	国土交通省
平成19年 2月 8日	富山市中心市街地活性化基本計画 第1号認定	内閣府
平成18年 2月 27日	第1回 まち交大賞・創意工夫大賞(都市みらい推進機構理事長賞)	まちづくり交付金情報交流協議会

※団体の名称は受賞(認定)当時のもの。